県設備設計事務所協会総会等

新会長に小島氏

新規事業掘り起こしを

小島眞史新会長

県設備設計事務所協会（畠中洋会長）は18日、鹿児島市の城山観光ホテルで第45回通常総会及び第16回会員大会を開き、新規事業の掘り起こしで更なる発展を誓うと共に任期満了に伴う役員改選では、新会長に小島眞史氏（㈱ナック）を選出した。

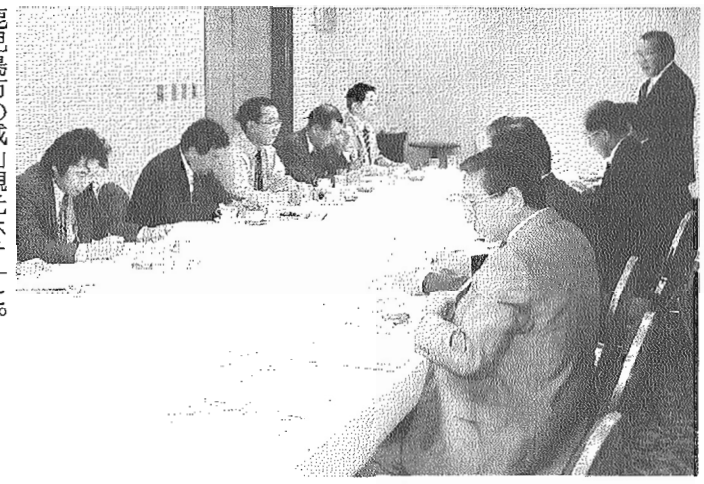
総会では、畠中会長が「厳しい社会情勢の中、我々が担っていかなければならないものはまだまだ多い。この厳しい時こそ、新規事業の掘り起こしや開発は必要だ。また、会員らが一丸となって社会貢献等に取り組んでほしい」と挨拶。

続いて、若山悍副会長（㈱鹿児島設備連合設計）を議長に選出して議題審議に移り、建築設備士関連や九州ブロック大会で建築設備士を持った事務所などを登録する事務所登録制度なども検討されていることなどが報告された。また、任期満了に伴う役員改選では、15・16年度の新会長に小島氏、副会長に若山氏、専務理事に迫田修氏（㈱鹿児島設備コンサルタント）を選出した。小島会長は「技術向上と設備業者の地位向上を図り、新たな事業等を見出していきたい」と抱負を述べた。

このあと、会場を移し会員大会が行われ賛助会員ら約200人が出席、社団法人公共建築協会常務理事を講師に「日本人と技術力」と題した講演や懇談会が盛大に行われた。

新役員は次の通り。

会長＝小島眞史▽副会長＝若山悍▽専務理事＝迫田修▽理事＝上畑芳一（㈲ワイ・ユウプラン）植村直哉（㈲アイケン設備設計）出水和紀（㈲設備共同プラン）柳田晃（㈲プランディー）前之園与市（㈲アムーン）▽監事＝畠中洋（㈲共栄設備設計事務所）


技術向上へ向け話し合う会員
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

県建設業協会川内・甑島支部パト

安全意識の交流図る

県建設業協会川内支部（田代藤夫支部長）と甑島支部（純浦勝志支部長）は16日、第4回交流安全パトロールを甑島で実施し、薩摩郡上甑、里村の5現場を巡回、診断表に基づき厳重にチェックした。

同日は、海路で里港に到着した川内支部関係者14人は㈱塩田建設に移動、待ち受けた甑島支部会員14人と共にマイクロバスに乗り、①里村発注－14年度水土保全林整備事業（流域）尾橋川原線1工区（㈱塩田建設）②同－同2工区（㈱ヒラミネ）③上甑村発注－14年度平良漁港漁業集落環境整備事業　集落排水施設整備1工区（平成建設㈱）④同－同2工区（昌和建設㈱）⑤同－平良小学校校舎大規模改造（㈱宮内建設）の上甑島内5現場をパトロール、各現場代理人の説明の後、診断表に基づき念入りにチェックした。

パト終了後は、甑島建設会館で反省会が行われ、純浦支部長が「本日、当支部会員の現場を診断して気付かれた事は、遠慮なく指摘いただき今後の安全管理に役立たせたいと思いますので、よろしくお願いします」と挨拶。用務のため欠席した田代支部長に代わり、今屋純一副支部長が「恒例となった交流パトで訪島、現場を見せて頂いていますが、いずれも安全管理が行き届いていることに感心します。良い所は持ち帰って取り入れ、一層の安全作業に生かしたいと思う。来月は、当支部管内の現場診断をよろしくお願いします」と挨拶した。このあと、診断意見発表や講評が行われ、どの現場も良好と診断されて反省会を終え、会場を移して懇親会が開かれた。

甑島会員の説明を受けるパト一行
＝里村の現場で

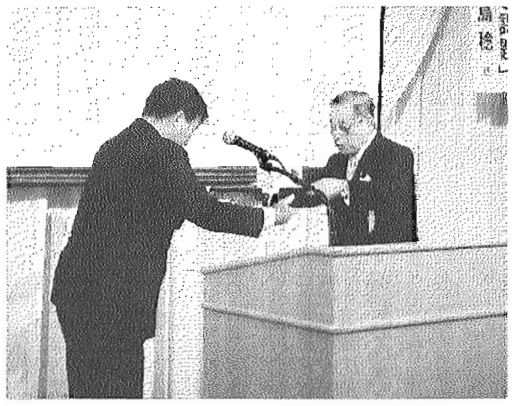
県鋼橋塗装協組15周年記念式典

節目祝い、更なる発展を

県鋼橋塗装協同組合（濵園茂木理事長）は18日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで創立15周年記念式典を開催し、会員や関係者ら多数が出席して節目の年を祝うとともに更なる発展を誓い合った。

式典では、主催者を代表して濵園理事長が「昭和63年10月の創立以来、不況化においても、県下全域の橋梁及び鋼構造物の現地調査を行い、劣化状況等を把握し、周期塗替えや塗装仕様の提案書を組合員全員で作成してきた。この15周年を機に21世紀への夢を創造しながら組合員一同努力して参りたい」と、創立当時からの歴史に触れながら挨拶。

続いて、来賓の森山裕黒之瀬戸大橋の施工や志布志国家石油備蓄タンク建設工事（代表）や下村佑毅参議院議員が「結の年月を大切に、一層の勇気をもって力強い未来への一歩を踏み出して目に更なる発展を」と、それぞれの立場から祝辞を述べた。


15周年の節目を祝った祝賀会（上）と組合員から感謝状を受ける濵園理事長＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

装の上原輝雄氏と㈱植村の植村森行氏に永年の功績を称える感謝状並びに園理事長に対しても組合員一同を代表して市坪孝志㈱市坪建装社長から感謝状が贈られた。

記念式典後は、「鋼橋への耐候性鋼の適用と課題」と題して記念講演会が行われ、㈳日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会顧問の福島稔氏が耐候性鋼の性質や対策、今後の課題等についてテキストやOHPなどで分かりやすく解説。参加者はスクリーンを食い入るように見つめていたほか、メモを取るなど真剣に聴き入っていた。

また引き続いて、来賓として濵園理事長の挨拶の後、谷川洋造県議や牟田神宗征県技術管理課長、大重和哉県道路建設課長、大迫純隆㈱鹿児島建設新聞社長らが「更なる発展を祈念する」「しっかりとした技術と技能で地域社会の期待に応えて頂きたい」などと挨拶。

県中小企業団体中央会の有馬邦春連携支援課長の乾杯で宴に入り、出席者は思い出話に花を咲かせながら杯を酌み交わし、最後に㈱川崎塗装店の川崎眞俊社長の万歳三唱で締めくくった。

バリアフリー技術講習会

制度基準等学ぶ

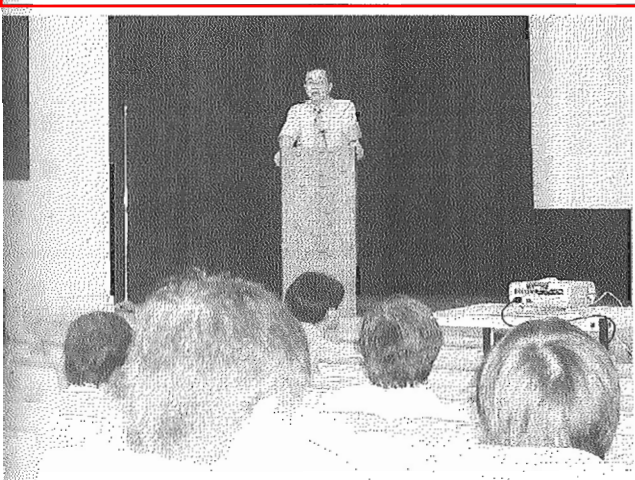
県住宅・建築総合センター

県住宅・建築総合センターは18日、鹿児島市の県立図書館で14年度住宅バリアフリー技術講習会を開き、大工・工務店等の技術者が住宅の制度基準や建築技術、高齢者の転倒と障害などを学んだ。

講習会では、初めに西薗幸弘県土木部住宅課技術主幹が「本県は全国有数の高齢化率にも係わらず、住宅のバリアフリー化率は低い。高齢者等の安全と快適な生活の実現のため、本日の講習を実務に役立てて頂きたい」と挨拶。

続いて講義に移り、博悠会温泉病院の大西芳輝氏が高齢者の転倒と障害、㈱アーキ・プランの古川稔氏がバリアフリー化に関する技術指針について講義。古川氏は、バリアフリー整備の設計・施工のチェックリスト、リフォームの際の段差、廊下幅、手摺り設置の基本事項等をガイドブックに沿って説明した。

また、㈲バリアフリーホームの久木田洋子氏とライファ鹿児島中央の坂口富男氏が具体的な事例


高齢者等の快適生活実現のため開かれた講習会
＝鹿児島市の県立図書館で

SPACE HOUSE が鹿児島に
スペースハウス
新登場
・簡単，スピーディーな作業
・安全性，快適性を重視
・コンセント，照明・換気扇付
・運搬時のコストダウン化
ハウス事業部
鹿児島支店
鹿児島市永吉町（アリーナ近く）
☎ (099) 250-5060番
FAX (099) 285-5999番
串木野支店
串木野市さつま山（R3号線沿）
☎ (0996) 32-2839番
FAX (0996) 32-4156番
スペースハウス「エクストラ」
販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎(099) 229-5900